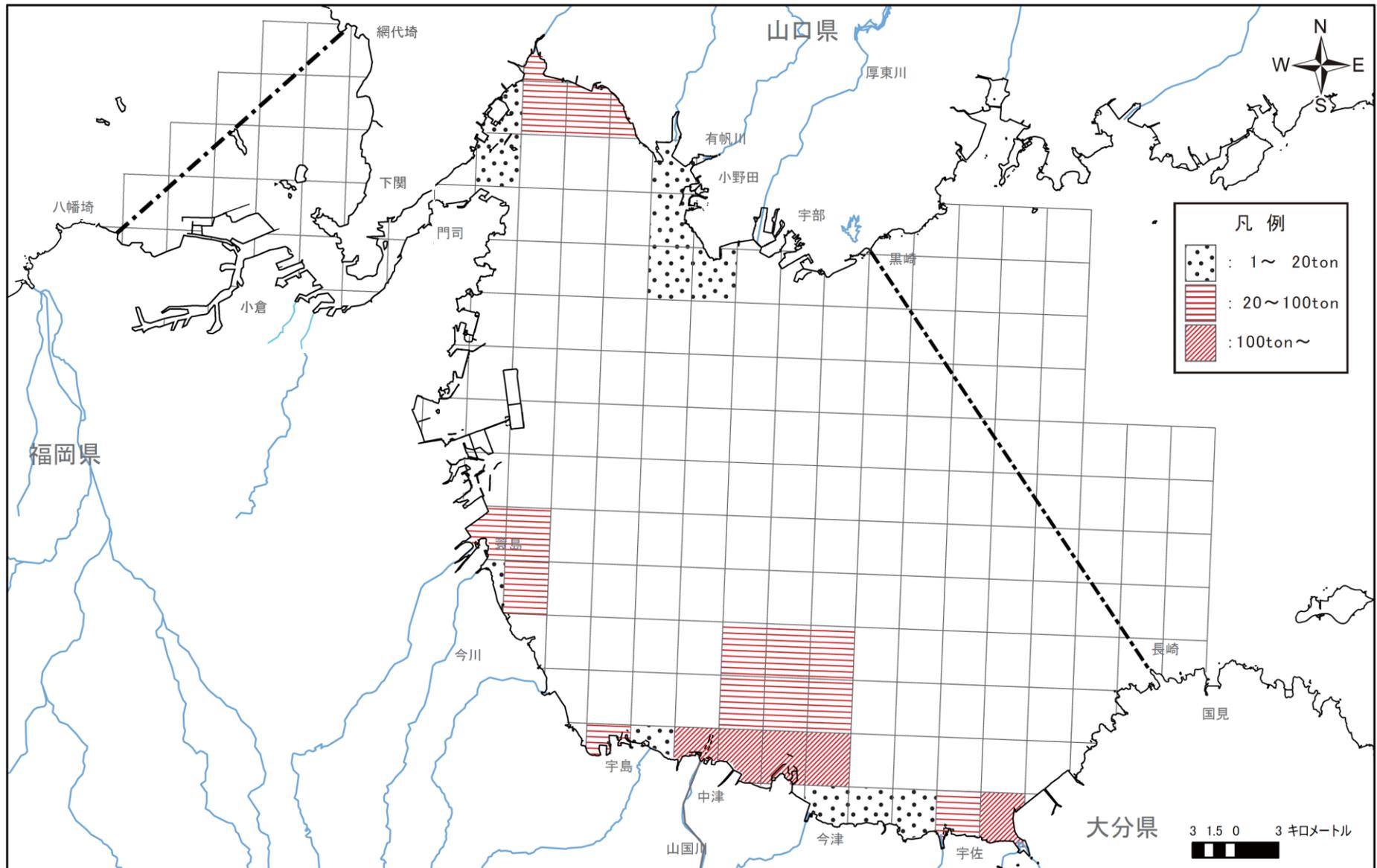


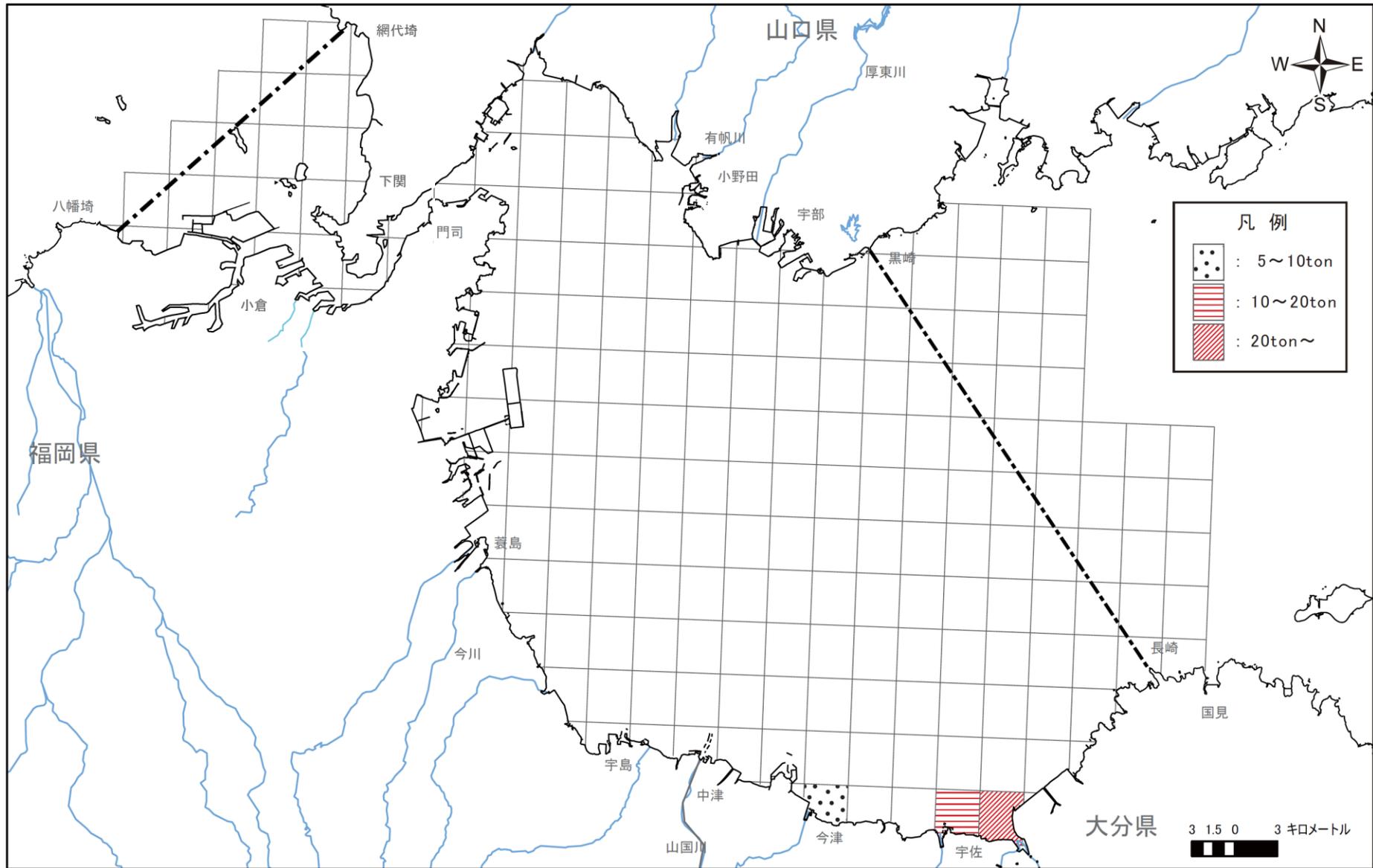
出典：水産庁：漁場環境評価メッシュ図，「瀬戸内海」（平成11年3月）及び「響灘」（平成14年3月）より作成

図 3.10(5) 主要魚種の漁場分布図（クルマエビ）



出典：水産庁：漁場環境評価メッシュ図，「瀬戸内海」（平成11年3月）及び「響灘」（平成14年3月）より作成

図 3.10(6) 主要魚種の漁場分布図（アサリ）



出典：水産庁：漁場環境評価メッシュ図，「瀬戸内海」（平成11年3月）及び「響灘」（平成14年3月）より作成

図 3.10(7) 主要魚種の漁場分布図（ハマグリ）

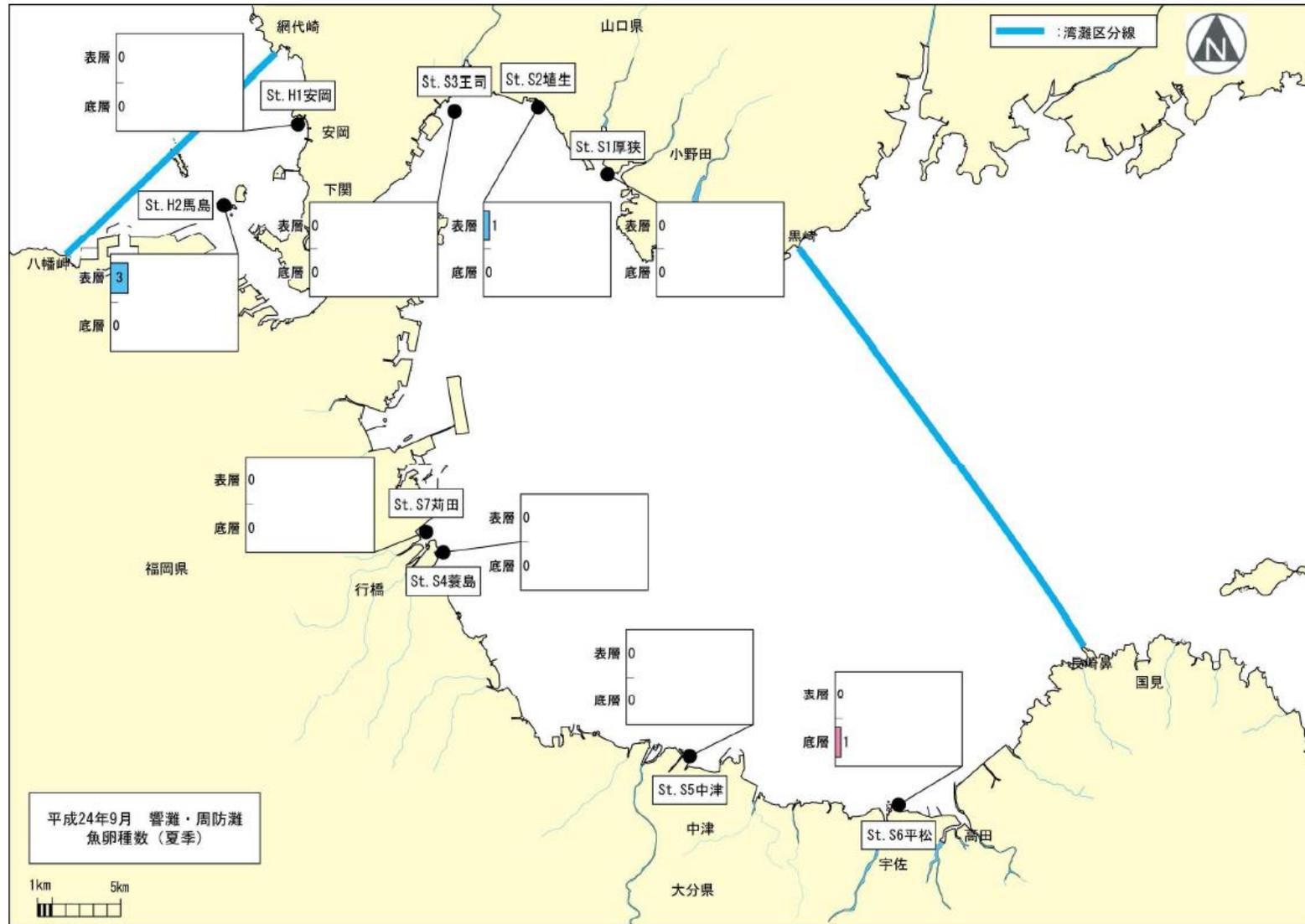
表 3.7 主要魚種の産卵場及び生育場について

主要魚種名	現地調査結果等のまとめ
スズキ	周防灘北部の浅場、藻場、干潟、周防灘南部の浅場、干潟、響灘南部の浅場
カレイ類（マコガレイ・イシガレイ）	周防灘北部の浅場、周防灘南部の浅場、周防灘南部の干潟及び藻場、響灘北部・南部の浅場、響灘北部の藻場
マダイ	生育場として、周防灘南岸の干潟・藻場、響灘北部・南部の浅場、響灘北部の藻場。既存資料より、主な産卵場の可能性は低いと判断した。
ガザミ	周防灘北部の浅場、周防灘南部の浅場、周防灘南部の干潟及び藻場
クルマエビ	周防灘北部の浅場、周防灘南部の浅場、周防灘南部の干潟及び藻場
アサリ	周防灘北岸の干潟、周防灘南部の浅場、周防灘南岸の干潟
ハマグリ	周防灘南岸の干潟

既存資料：漁場環境評価メッシュ図，瀬戸内海（平成 11 年 3 月、水産庁）

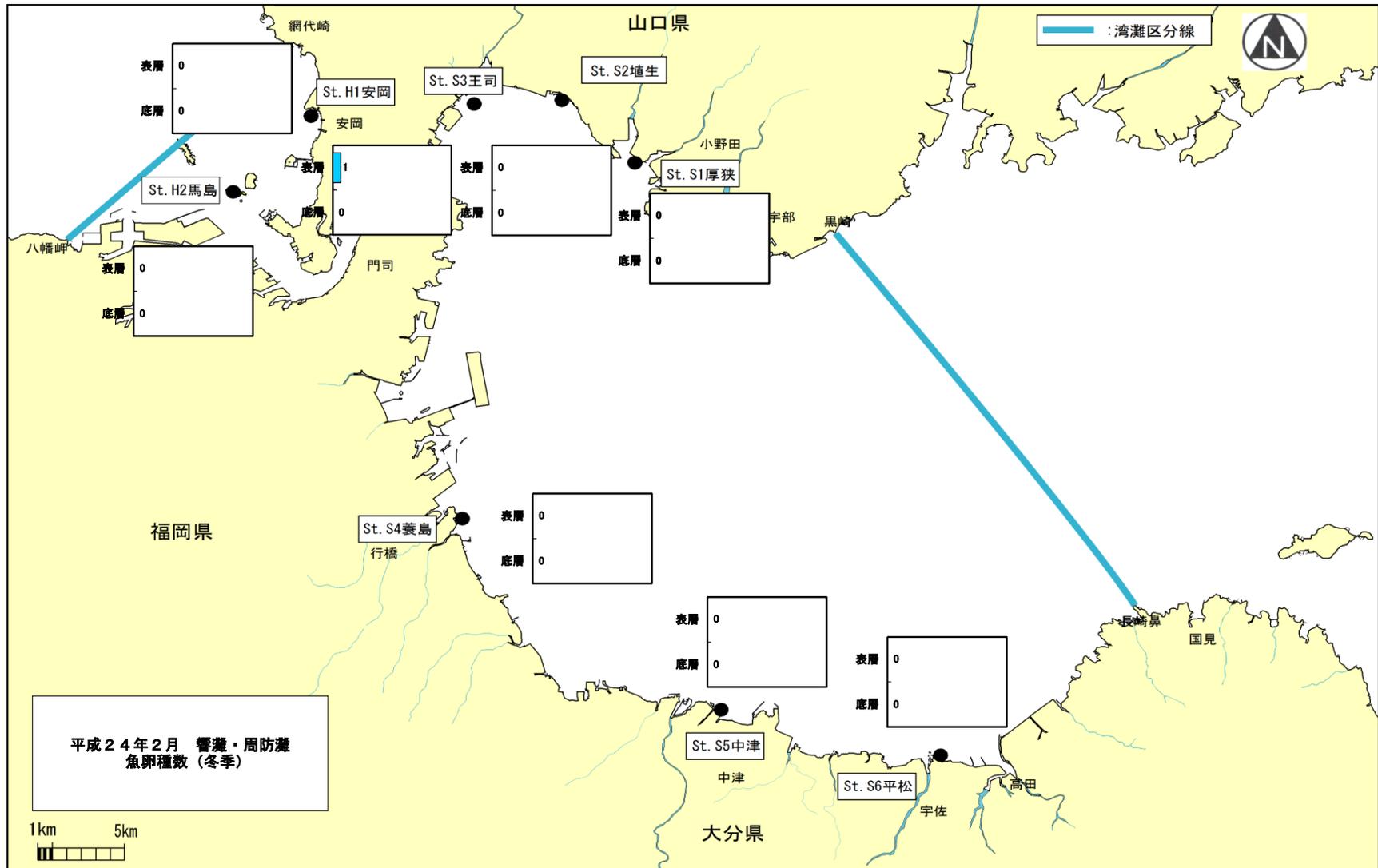
我が国周辺水域の漁業資源評価（平成 27 年、水産庁・水産総合研究センター）

出典：「平成 24 年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成



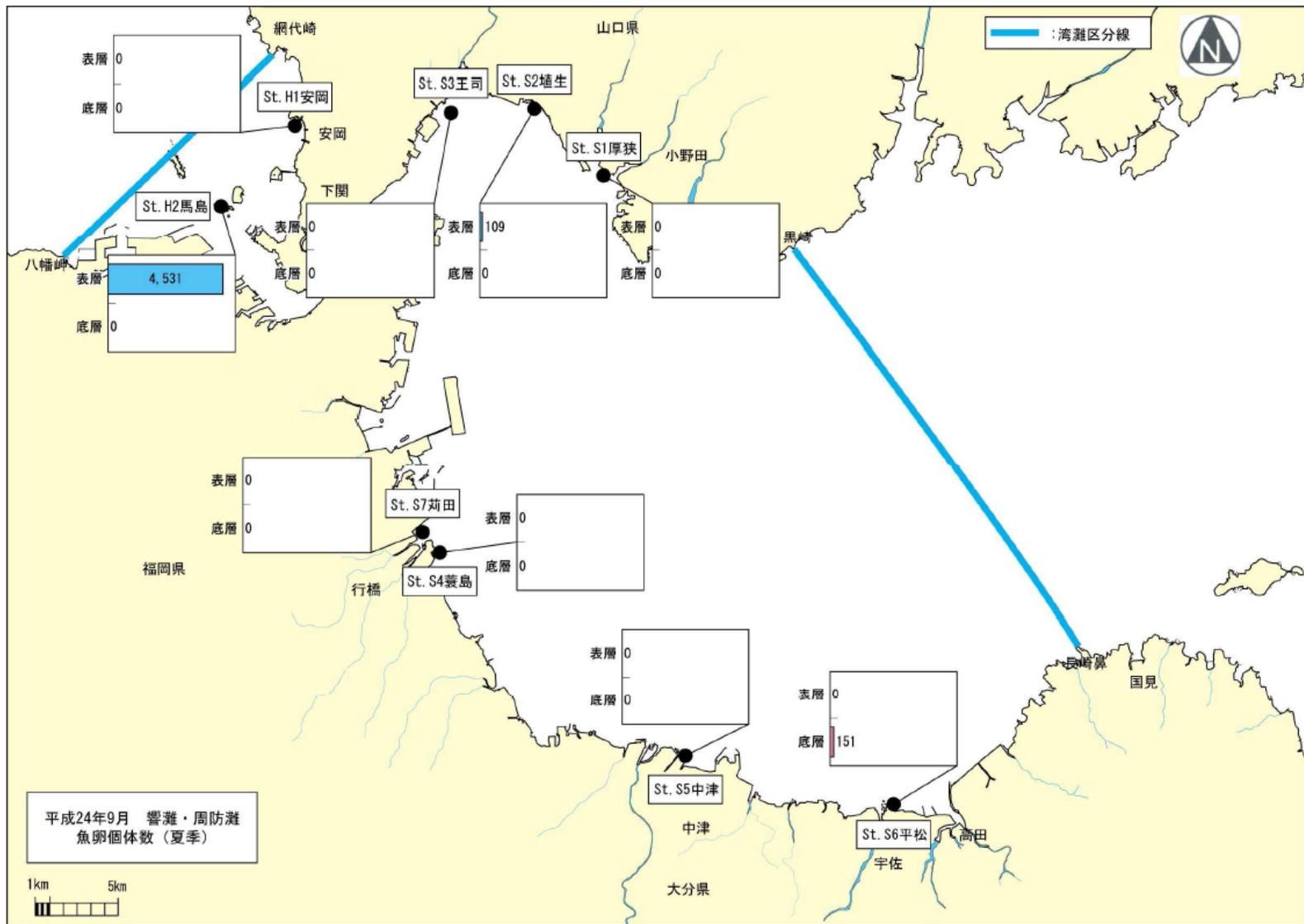
出典：「平成24年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 3.11(1) 魚卵種数の出現状況 (夏季)



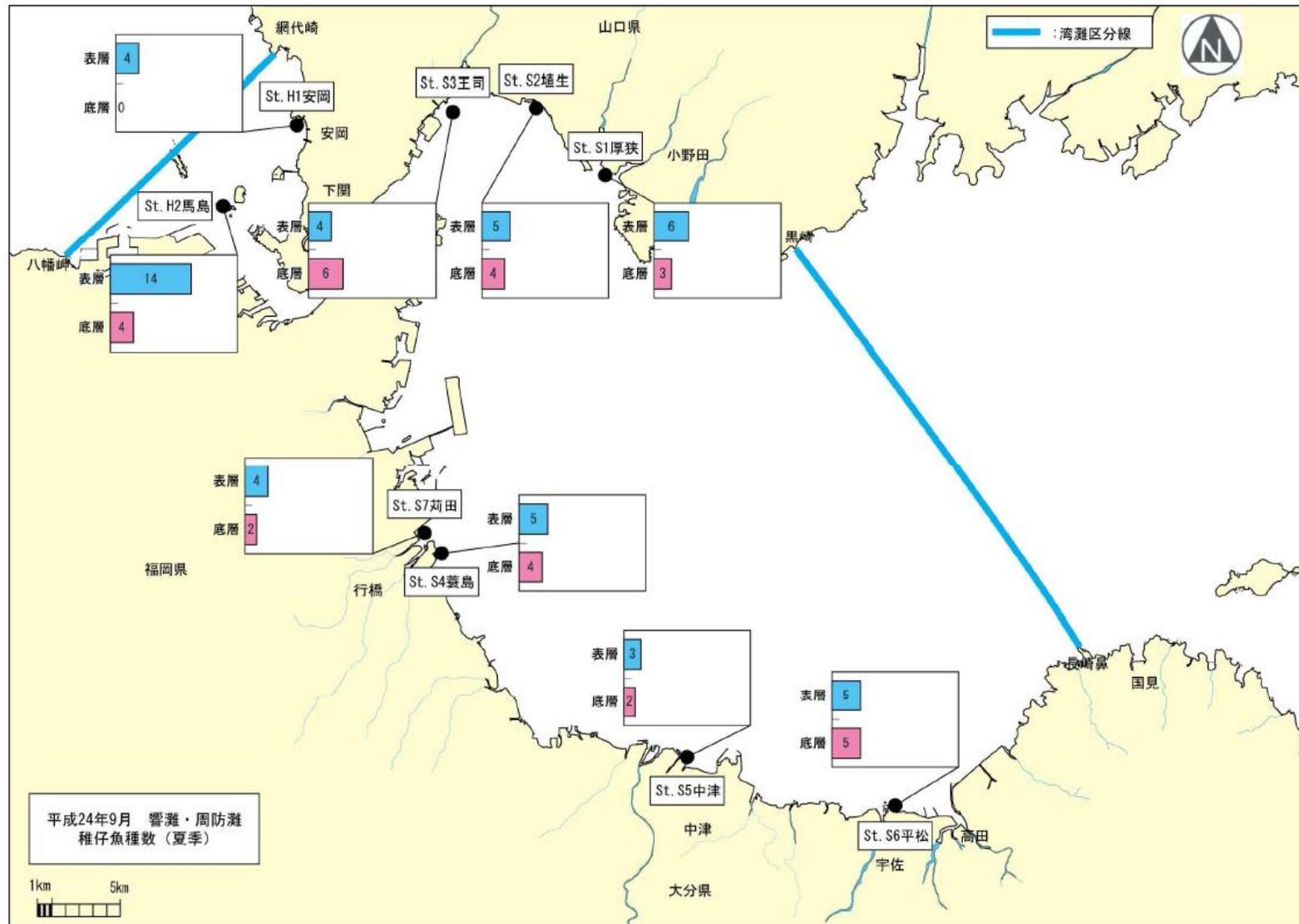
出典：「平成 23 年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 3.11(2) 魚卵種数の出現状況 (冬季)



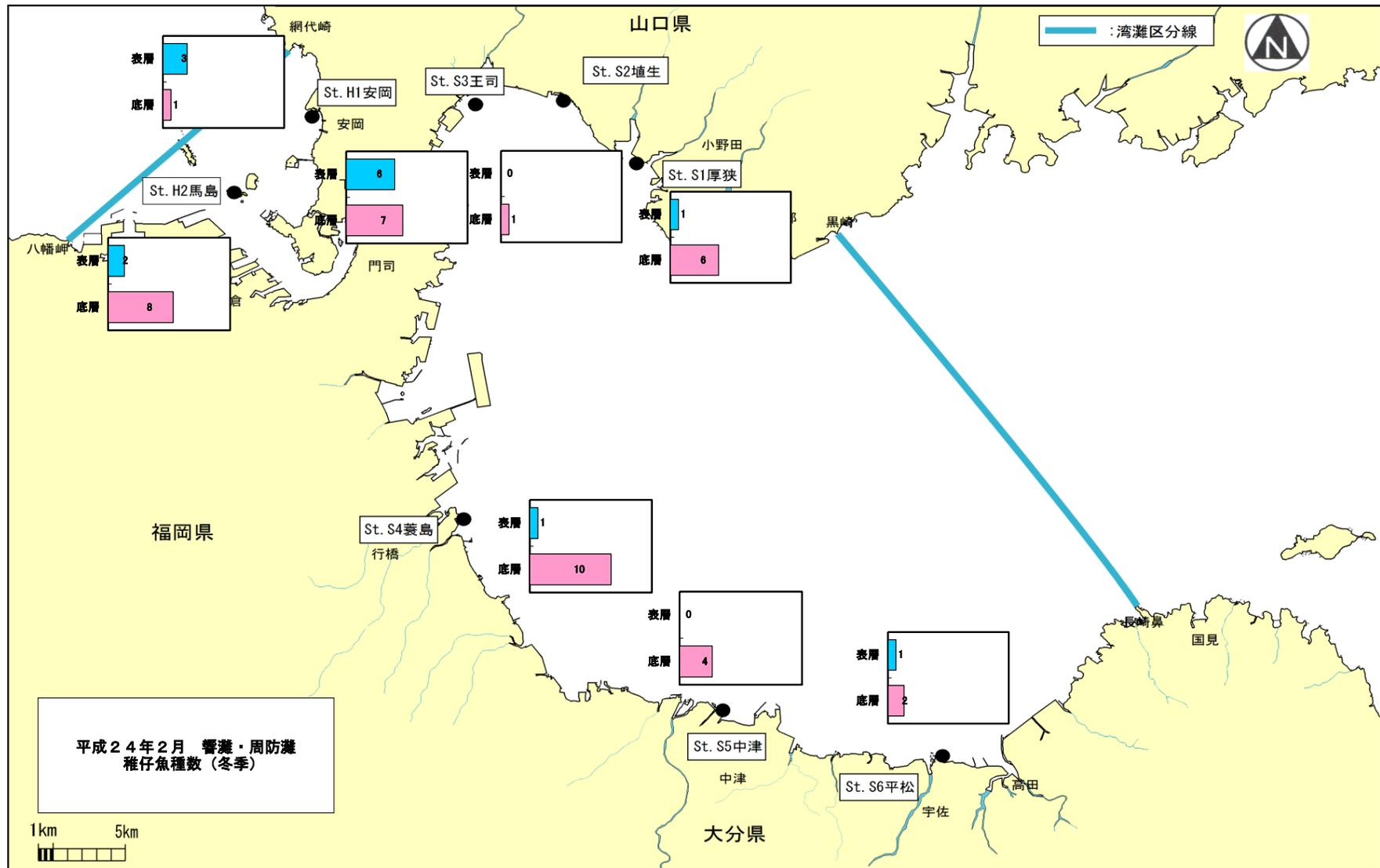
出典：「平成24年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成 (図中の数値の単位：個体数/1,000m³)

図 3.11 (3) 魚卵個体数の出現状況 (夏季)



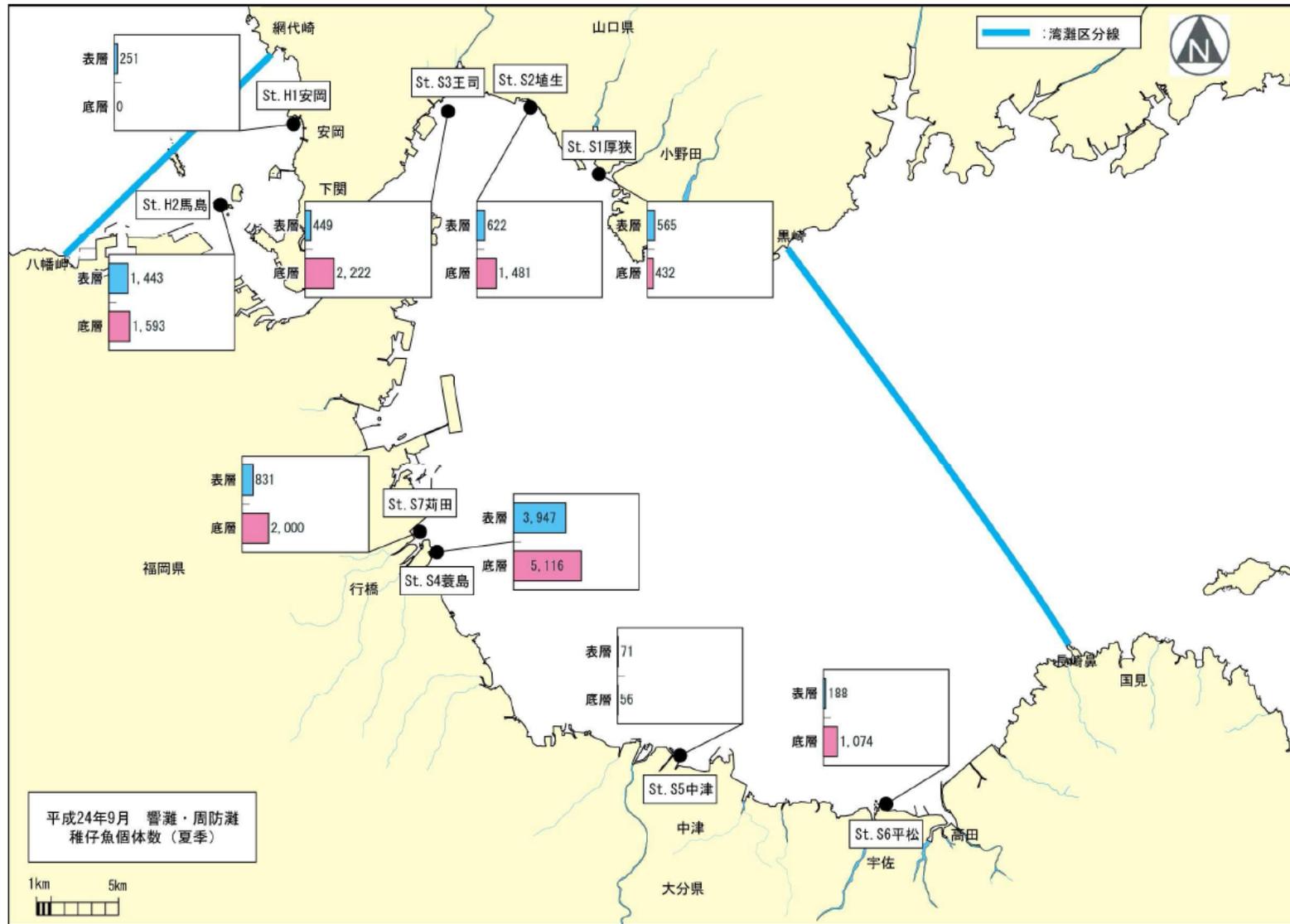
出典：「平成24年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 3.11 (5) 稚仔魚種数の出現状況 (夏季)



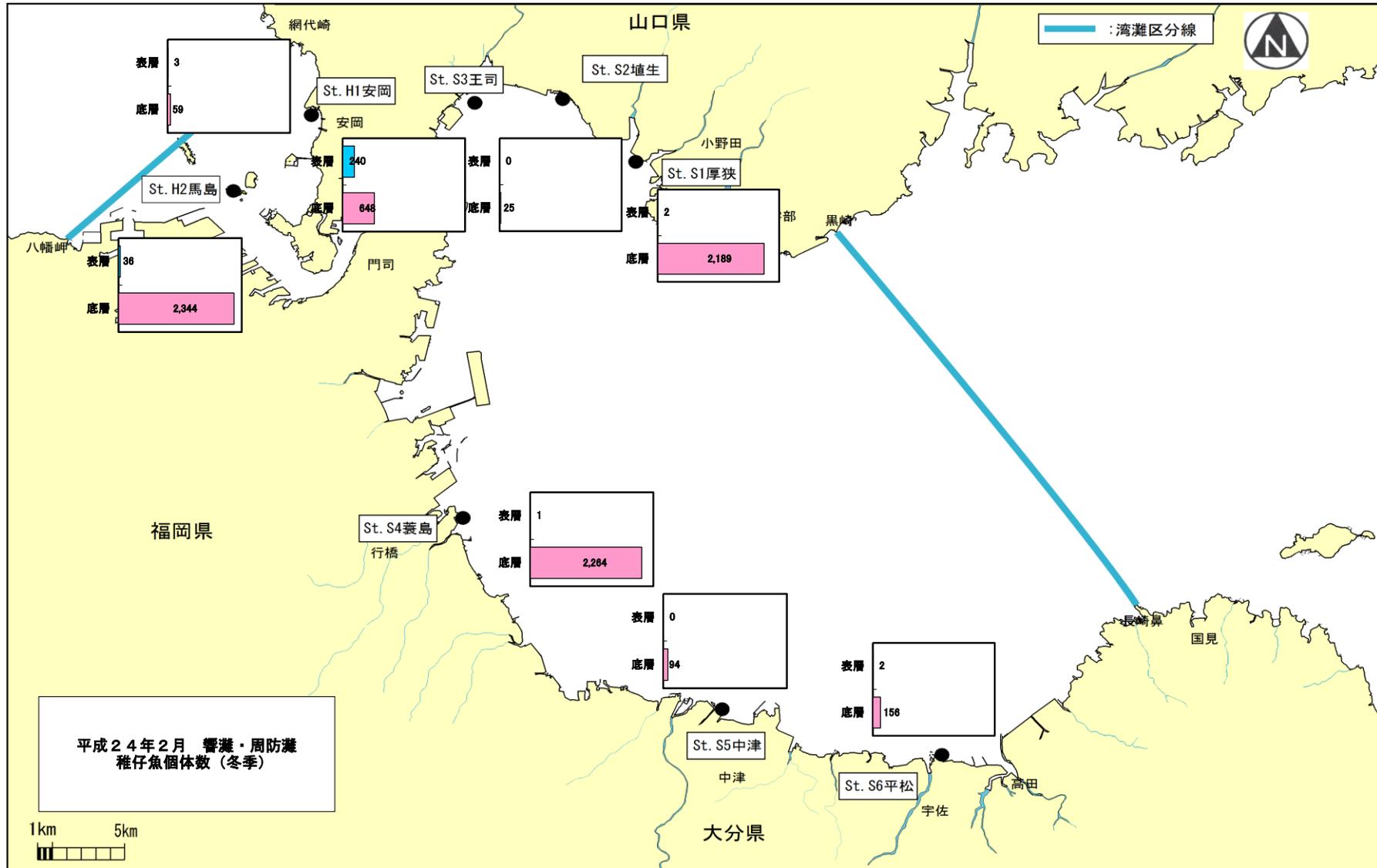
出典：「平成23年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成

図 3.11 (6) 稚仔魚種数の出現状況 (冬季)



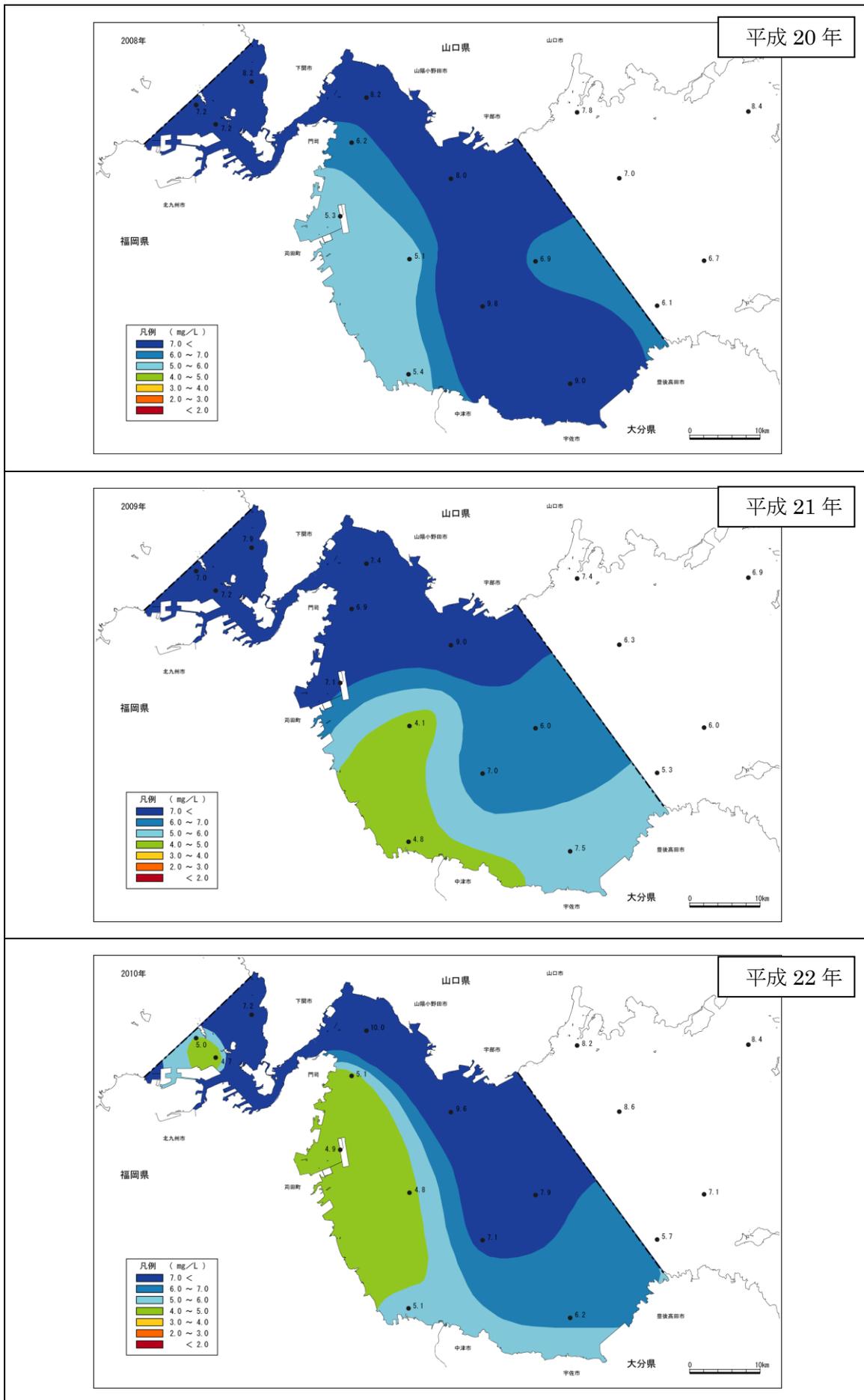
出典：「平成 24 年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成 (図中の数値の単位：個体数/1,000m³)

図 3.11 (7) 稚仔魚個体数の出現状況 (夏季)



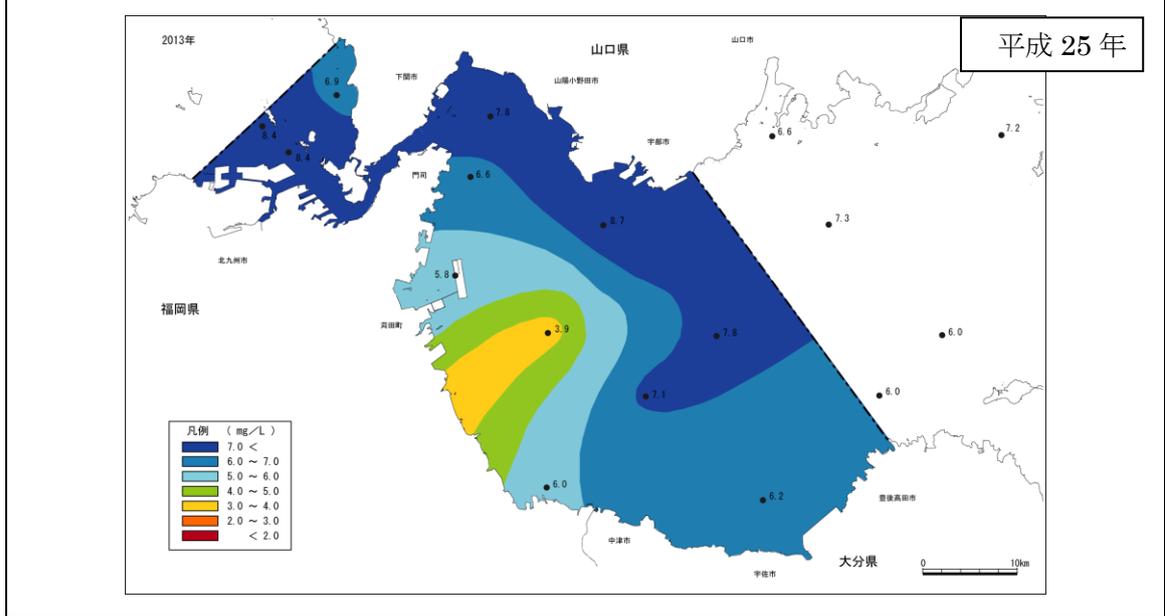
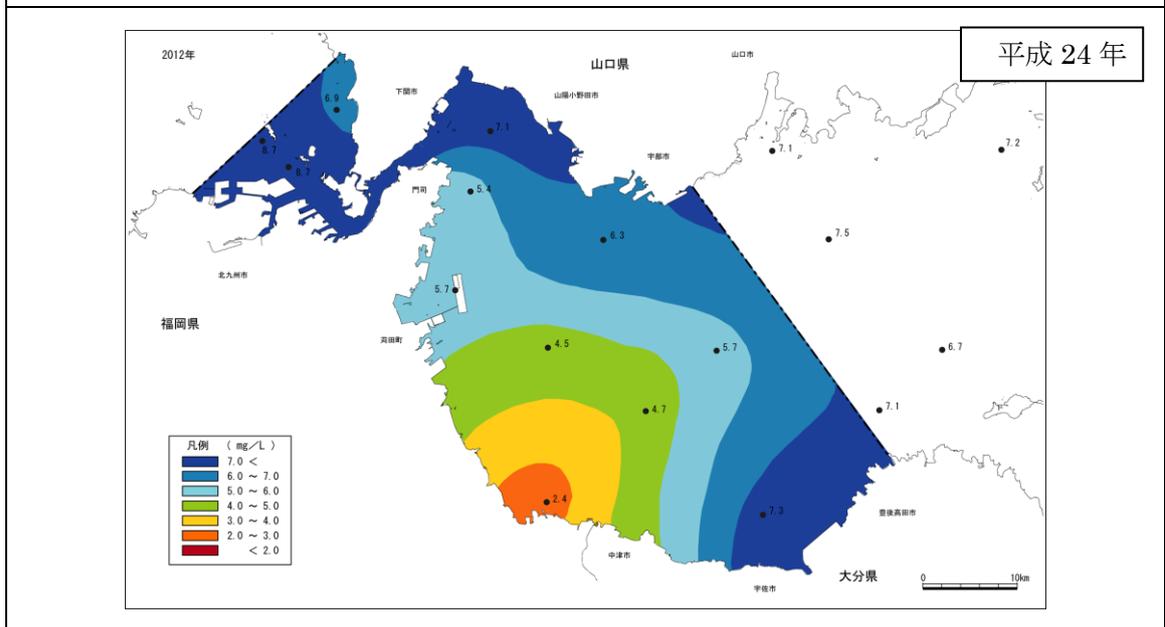
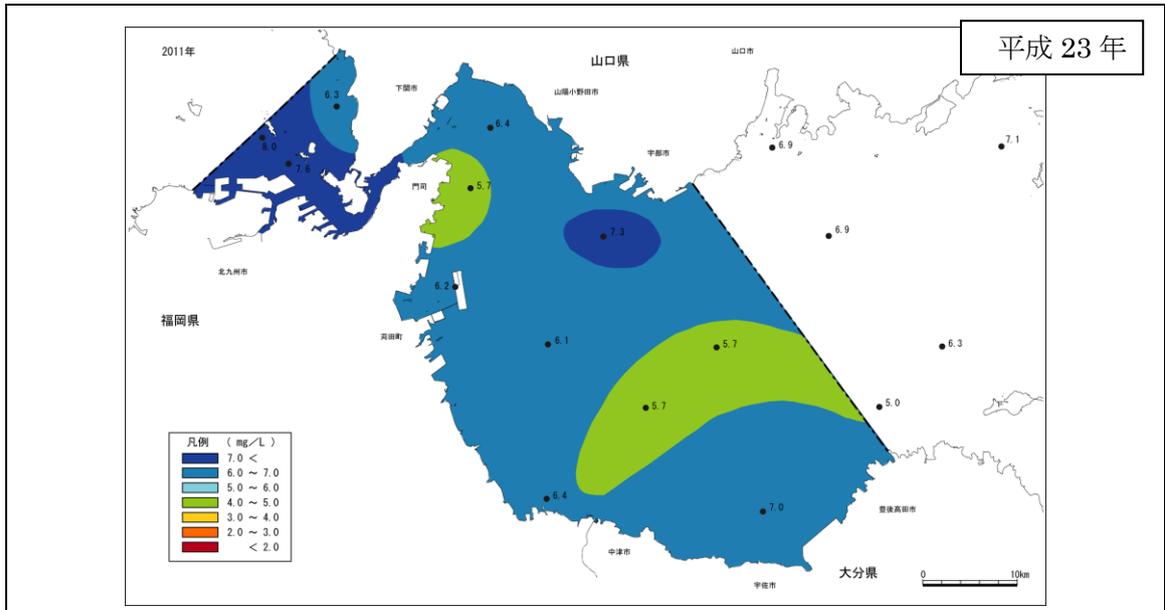
出典：「平成23年度水生生物類型あてはめに係る生物生息状況調査業務 報告書」により作成（図中の数値の単位：個体数/1,000m³）

図 3.11 (8) 稚仔魚個体数の出現状況（冬季）



出典：環境省広域総合水質調査結果

図 3.12(1) 夏季底層DO分布の経年状況（響灘及び周防灘）



出典：環境省広域総合水質調査結果

図 3.12 (2) 夏季底層DO分布の経年状況（響灘及び周防灘）

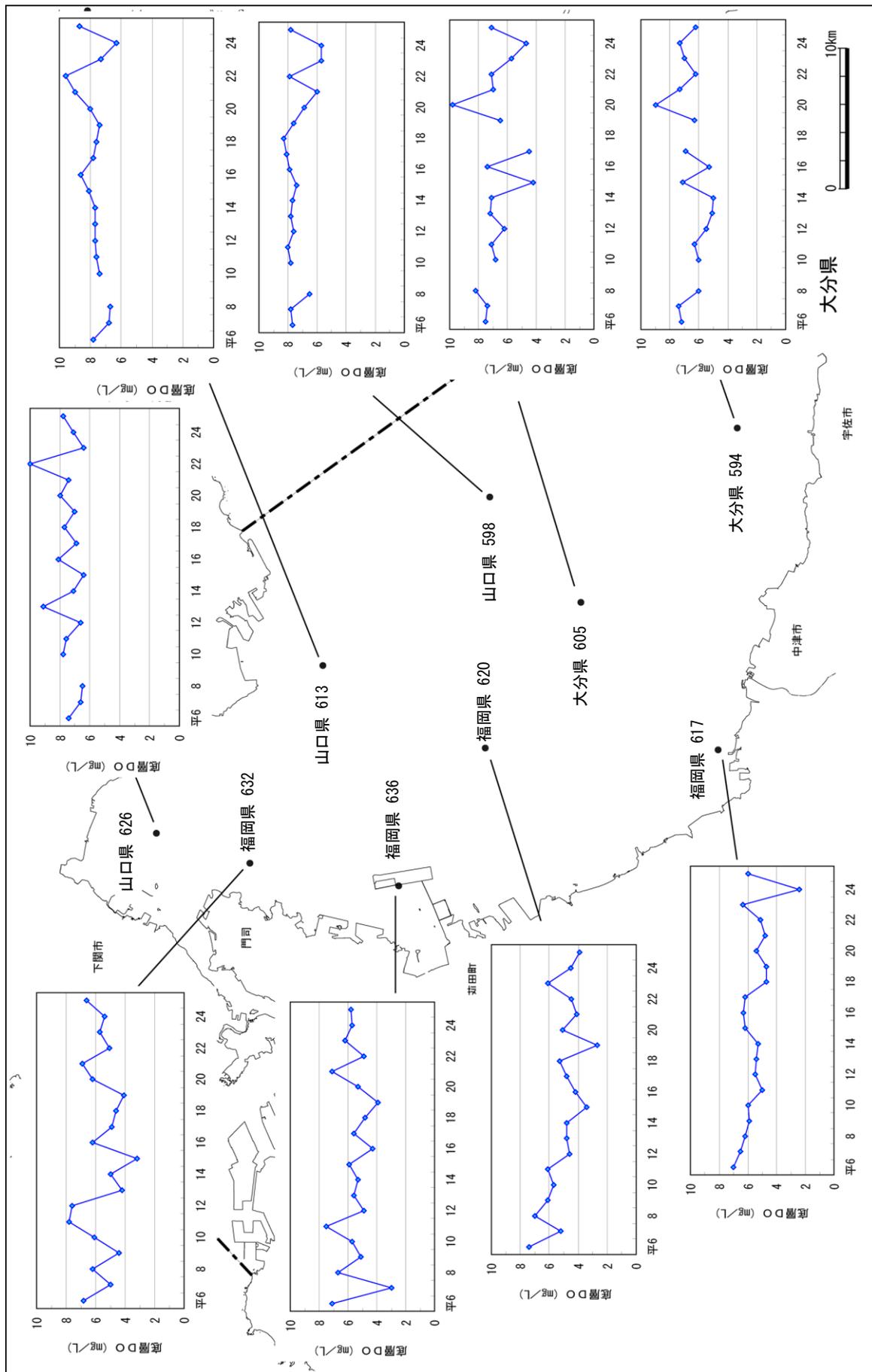
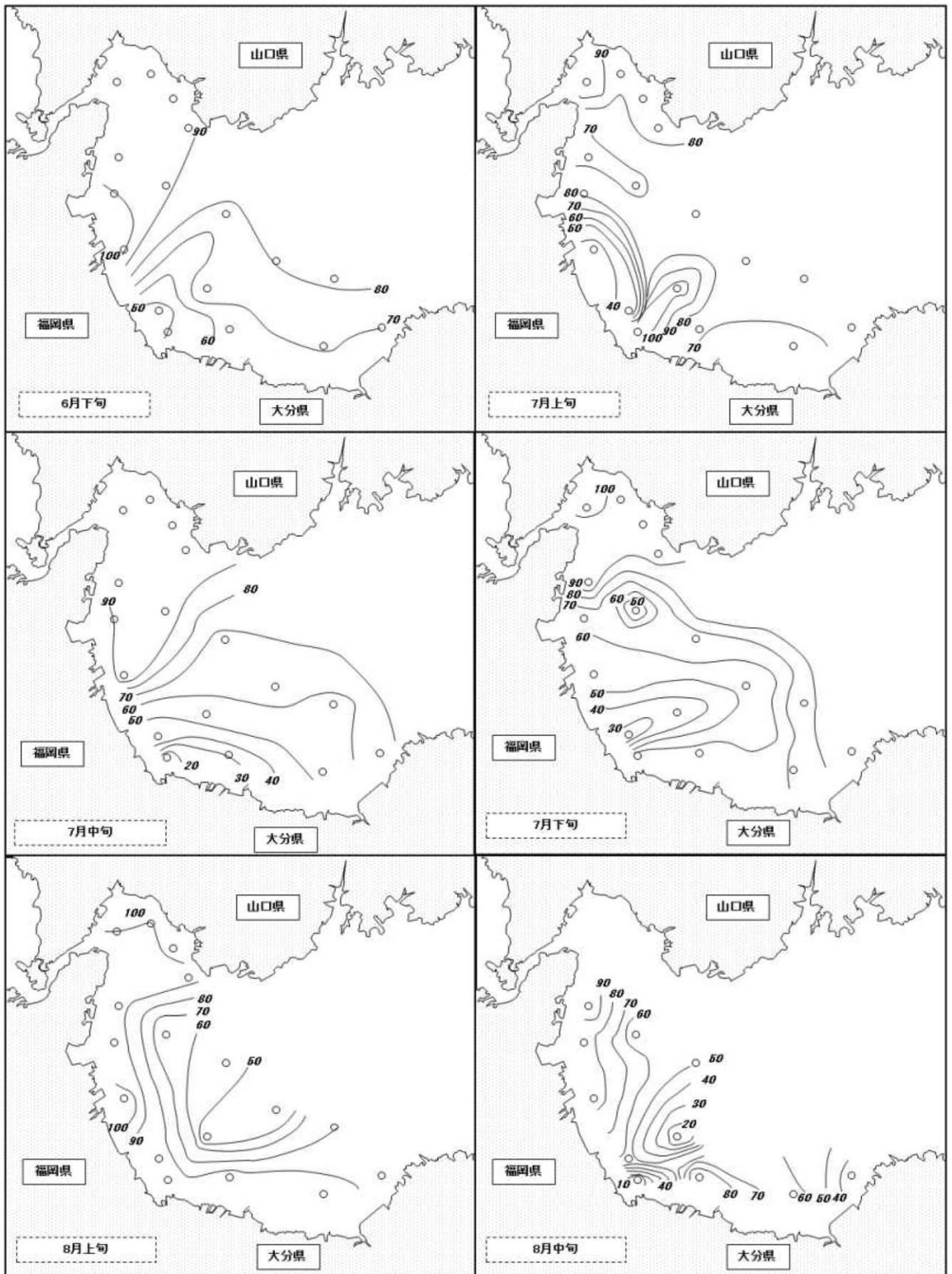


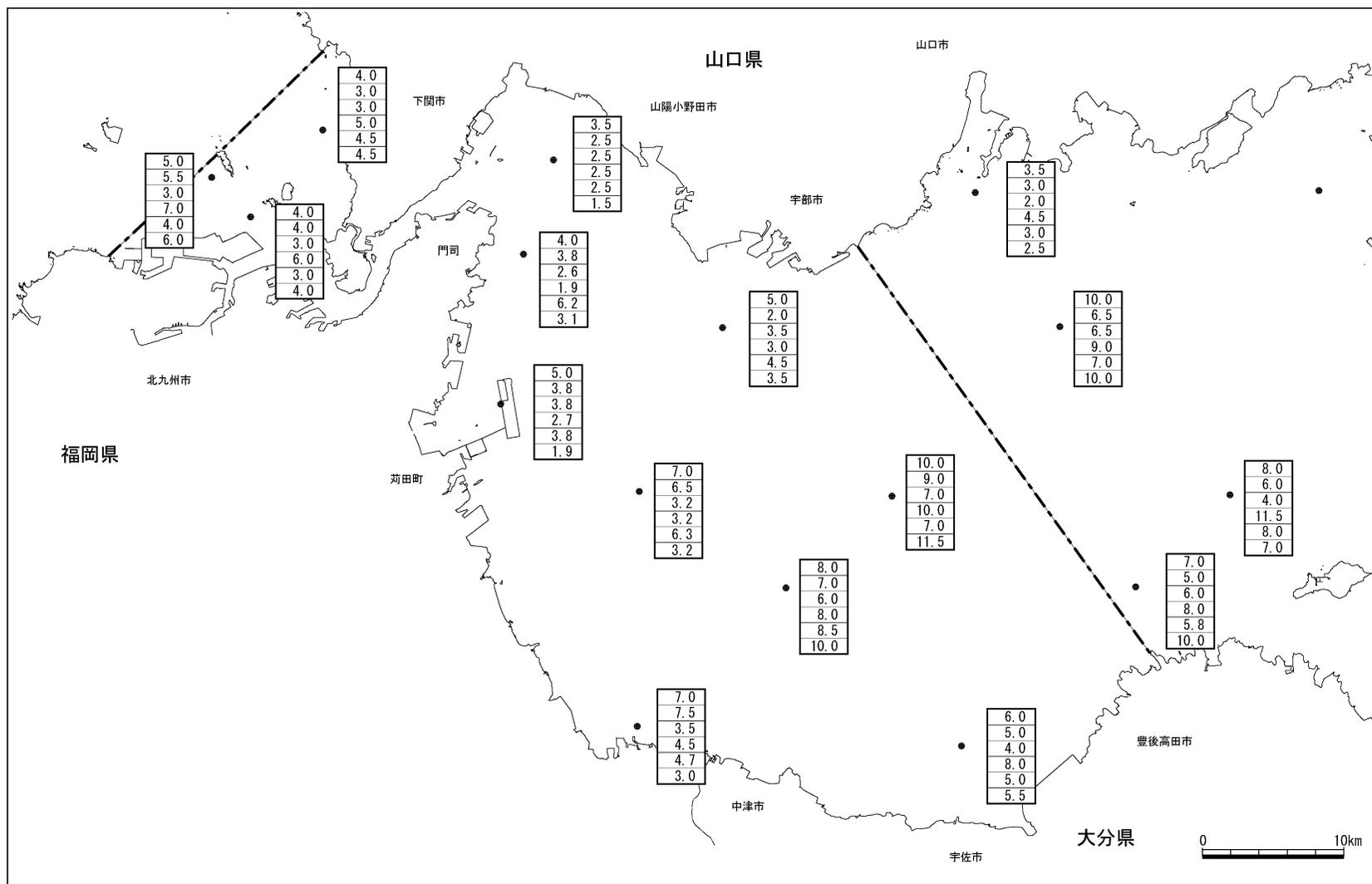
図 3.13 周防灘南西岸における夏季の底層DO濃度の推移

出典：環境省 広域総合水質調査



出典：平成 24 年度 福岡県水産海洋技術センター事業報告

図 3.14 周防灘底層における溶存酸素飽和度 (%) の水平分布 (平成 24 年度)



出典：環境省広域総合水質調査結果

注) 各地点の値は上段から順次、平成20年～平成25年の透明度 (m) を示す。

図 3.15 夏季透明度の分布 (響灘及び周防灘：平成20年～平成25年)

